

機械器具 16 体温計  
管理医療機器 電子体温計 (JMDNコード: 14032010)

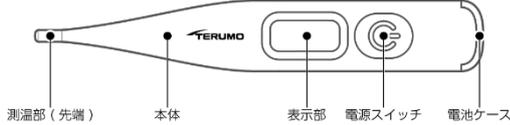
## テルモ電子体温計 P237

### 【警告】 <使用方法>

- ・電池や電池ケースは子供の手に届かない所に置いてください。
  - ・子供だけで使わせしないでください。
- [本製品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをすることがあります。]

### 【形状・構造及び原理等】

#### \* 1. 各部の名前



付属品: 収納ケース、モニター用電池 (内蔵)、取扱説明書 (保証書付)、EMC 技術資料

#### 2. 体に接触する部分の原材料

- ・ 測温部: SUS 304 ステンレススチール
- ・ 本体: ABS 樹脂 (抗菌剤使用)

#### 3. 本体の寸法及び重量

- ・ 本体: 約 21 mm (幅) × 133 mm (長さ) × 9 mm (厚さ)
- ・ 質量: 約 12 g (電池含む)

#### 4. 電気的定格

- ・ 電源: DC1.5 V (LR41 × 1 個)
- ・ 消費電力: 約 1.5 mW
- ・ 分類: 内部電源機器・BF 形装着部・IPX7

#### 5. 電池寿命

- ・ 予測検温: 連続使用で、約 2,500 回使用できる。
- ・ 実測検温: 連続使用で、約 800 回使用できる。

#### 6. 原理

本品は、人の体温を測定するための装置であり、測温部、本体、電源スイッチ、表示部等からなり、測温部に伝わった温度を感温素子により電流量に変換し、その電流量を LSI により演算処理し、平衡温を予測した後、測定値をデジタル表示する。

#### 7. 仕様に係る事項

- ・ 測温範囲: 32.0 ~ 42.0°C
- ・ 温度精度: 最大許容誤差 ± 0.1°C (恒温水槽で実測測定した場合)
- ・ 使用条件: 周囲温度 10 ~ 40°C  
相対湿度 30 ~ 85%RH (ただし結露なきこと)

### 【使用目的又は効果】

本品は、測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する。

### 【使用方法等】

- (1) 電源スイッチを押して電源を入れる。  
「ピポッ」とブザーが鳴り、全点灯表示に続いて、前回値が表示された後、検温開始が可能である旨を表す「88.8」を表示する。
- (2) ワキ下中央に体温計の先端 (測温部) をあてる。
  - ・ あらかじめワキの下の汗をふいてください。
  - ・ 体温計をななめ下から 30° くらいの角度で、押し上げるようにはさみ、ワキをしっかりとしめる。
- (3) 体温計のブザーが鳴ったらワキ下から取り出す。
  - ・ 予測検温  
検温開始後、約 30 秒で予測が成立したことをブザーで知らせるので取り出す。(予測マークが点灯している。)
  - ※ 正しい方法で測定を行わなかった場合や血行動態・体躯等によっては予測精度が保証されない可能性があるため注意すること。

#### ・ 実測検温

- 2 度目のブザーが鳴るまで待って取り出す。  
(約 10 分で測定完了する。予測マークは消えている。)
- ※ より厳密な体温を測定するには、実測検温を行うこと。

- (4) 検温終了後、電源スイッチを押して電源を切る。
- (5) 使用後は乾いた布等で水気をふき取って、清潔な状態で付属の収納ケースに戻す。
- (6) 電池交換の方法は、取扱説明書を参照する。

### 【使用上の注意】

- (1) ワキ専用です。ワキ下以外で検温しないこと。
- (2) 運動、入浴、食事の後の約 30 分間は検温を避けること。
- (3) 周囲温度が 32°C 以上の場合、測温部を水で冷やしてから測定し、周囲温度の影響を受ける前にすばやく表示を読むこと。
- (4) 人の体温以外の測定には使用しないこと。
- (5) 修理、改造、分解は絶対に行わないこと。
- (6) 超音波洗浄はしないこと。【故障の原因となります。】
- (7) 水中に放置したり、水道の蛇口に直接あてないこと。
- (8) 曲げたり落としたり、強い衝撃を与えないこと。
- (9) 電池及び電池ケースは、乳幼児や子供等がけがをしたり、飲み込まないように十分注意すること。電池を飲み込んだ場合、化学やけどなどに至ることがありますので、直ちに医師に連絡して指示を受けること。

\* ※ 電子添文及び取扱説明書に従わない使用がなされた場合及び勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を追うことができないため注意すること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 1. 保管方法

日光や紫外線等の強い光があたる場所に保管したり、湿気が多い場所、ホコリが多い場所、腐食性のガスの発生する場所に保管しないこと。体温計は、先端部を守る目的で、収納ケースに収めて保管すること。長期間使用しない場合、電池は取り外して保管すること。

#### 2. 耐用期間

標準的な耐用期間の目安: 5年 [自己認証 (当社データ) による]

### 【保守・点検に係る事項】

- (1) 測温部 (先端) を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽くふくこと。また、測温部を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯 (50°C を超えるお湯) で消毒しないこと。
- (2) 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とした後、洗剤をよくふき取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩、クロルヘキシジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウム等は絶対に使わないこと。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: シチズン・システムズ株式会社

外国製造業者: 西鉄城精電科技 (江門) 有限公司

CITIZEN SYSTEMS (JIANGMEN) CO., LTD.

中華人民共和国

販売業者: テルモ株式会社

お問い合わせ先:

テルモ・コールセンター

電話: 0120-008-178 (9:00 ~ 17:00 土・日・祝日を除く)

取扱説明書を必ずご参照ください。

